

2021 年度ファウンデーション研修／オンライン研修

「“情報収集(アセスメント)”を磨く」 ～インシデント・プロセスを用いた事例検討体験～

ファウンデーションとは『土台』という意味です。ファウンデーション研修は当協会が実施する専門職育成における研修体系の一環として、特に精神保健福祉士のアセスメント・スキルの強化を目的とした研修です。

昨年度開催した『ソーシャルワークにおけるアセスメントの方法例を体験しよう～相談支援事業所での実践に基づくモデル～』では、相談支援センターくらふとの吉澤氏を講師にお招きし、「アセスメント」の方法例を手掛かりに、「個別支援」「連携」「地域づくり」におけるアセスメントに必要な基本的な視点や技術の再確認といった内容で行い、大変好評頂きました。ところでアセスメントでは、“意図的な情報収集の過程”が大切です。その意図的な情報収集をする過程を磨く実践として、“事例検討”＝事例提供者の実践の疑似体験”が効果的であると考えられています。

そこで、今回は、事例検討の方法として相談支援の実践、都の研修等でも採用されている“インシデント・プロセス”の体験を、オンライン形式でできるように試行錯誤しながら企画しました。

アセスメントの基本的視点を踏まえつつ、情報収集の意味・分析にポイントを絞り、参加者同士が意見を出し合い相互研鑽出来る場です。

明日からの実践に活用してみませんか？是非ご参加ください。

開催概要



講師

吉澤 浩一氏

(社会福祉法人ひらイルミナル 相談支援センターくらふと)

日時

2021年12月18日(土) 13:30～17:00

受講料

東京精神保健福祉士協会 会員 : 2,000円
東京精神保健福祉士協会 非会員 : 3,500円

定員

30名

* 申込順、定員になり次第締め切らせて頂きます。
精神保健福祉士として、現に実践を行っている方が対象(経験年数は問いません)

講師紹介

吉澤 浩一氏

(社会福祉法人ひらイルミナル 相談支援センターくらふと)

相談支援センターくらふと地域移行コーディネーター。1977年群馬県生まれ。2001年精神保健福祉士・社会福祉士資格取得。札幌市の地域生活支援センター勤務を経て2009年から江戸川区に上京。2013年に相談支援センターくらふとを立ち上げ。

現在は、江戸川区相談支援連絡協議会事務局長、東京都相談支援従事者研修検討会委員、日本精神保健福祉士協会代議員、同協会地域生活支援推進委員会委員長、厚生労働省精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業広域アドバイザーなど務める。

申込方法

右のQRコードもしくは、
下のURLにアクセスして申込みを行ってください。

<https://ws.formzu.net/dist/S37580764/>



申込締切

11月17日(水)

受講料事前入金締切：11月19日(金)

- * お申込み後に、受講料事前入金のお知らせをメールします。
- * 入金確認をもって受講確定とし、12月13日頃に当日の研修資料を郵送でお送りします。入金後の返金は致しかねますので、ご了承ください。

お申し込みにあたっての重要なお知らせ

- 本研修は新型コロナウイルス感染症のリスクを考慮し、WEB会議ツール「Zoomミーティング (Zoom)」によるオンライン研修です。集合研修ではありませんのでご注意ください。
- 本研修は講義のほか、Zoomの機能を活用してグループワークをおこないます。グループワークでは「お顔出し」(カメラオン)での参加が必須となります。
- メールアドレスを取得していないパソコンまたはタブレット端末では受講いただけません。
- 受講にかかる通信料は、受講者負担となります。
- WEBブラウザ経由での受講はいただけません。Zoomアプリのダウンロードが必須となります。
- 研修当日における受講者側のZoom接続不具合や通信トラブル等について、事務局では対応できませんのでご了承ください。

問い合わせ

一般社団法人東京精神保健福祉士協会 研修委員会

kensyu@tokyo-psw.com

メールにてお問い合わせください